

平成 27 年度 第 1 回 秋葉区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成 27 年 8 月 26 日（水）午後 3 時から午後 4 時 30 分まで
会 場	秋葉区役所 6 階 601・602 会議室
出 席 者	秋葉区自治協議会委員 出席 25 名 教育委員 佐藤教育委員、伊藤教育委員 事務局 長浜教育次長、教育総務課長補佐、保健給食課長、学校支援課総括指導主事、新津地区公民館長、秋葉区教育支援センター所長・主任・指導主事
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 教育委員代表挨拶 佐藤教育委員</p> <p>3 出席者紹介</p> <p>4 教育委員会制度の変更点について 事務局説明</p> <p>5 テーマについて（事前質問回答を含む）</p> <p>「秋葉区の教育の現状について」 事務局説明</p> <p>① 持続可能なまちづくりのための教育について</p> <p>② 秋葉区の子どもたちの健康について</p> <p>③ 秋葉区の子どもたちの安全について</p> <p>6 意見交換</p> <p>① 持続可能なまちづくりのための教育について</p> <p><b>自治協委員</b></p> <p>持続可能なまちづくりのための教育について、私が提案したので少し話をしたい。</p> <p>私は NPO で森の幼稚園・小学校のプログラムにかかわっている。ただ今の説明では、小学校の環境学習が ESD という話であったが、環境先進国ドイツでは ESD の 10 年（2005 年～2014 年）で、4、000 の幼稚園で ESD のプログラム導入の実績がある。</p> <p>幼児期というのは人間の土台を形成する時期であり、自然に対する愛着なり自分自身を肯定する土台ができる時期である。自分で考え、感じて、実践する力を養うことが ESD である。</p> <p>幼稚園教育要領などでも遊びの中で育まれるとあるが、今の子どもたちの外遊びの環境が激減している。</p> <p>子どもたちが外遊びの中で自然に愛着をもつとか自分で何かをする環境については、幼児期から市全域で持続可能な開発、まちづくりの土台としてもう少し力を入れてほしい。</p> <p>また、公園づくりの仕事をしているが、自由に遊べる公園がない。決め</p>

られたブランコや滑り台、これらは大人の都合だけで作られたもの。昔のように家の周りで生き物に触れる環境がなくなっている。まちづくりのための教育には切っても切れないものと考えているので総合的に整備してもらいたい。子どもたちは遊びの中で学ぶものということに力を入れてほしい。幼稚園や保育園向けにE S Dの10年の中で市が取り組んだものがあつたら聞きたい。

#### **自治協委員**

本日出席の委員はほとんどが教育を終えた世代。孫とのかかわりとも違う。私は中学校で10年ほど総合学習の講師をしており、いろいろ子どもたちとのかかわりもある。報告だけで具体例がないのであればこれ以上受け答えできないし、ミーティングにもならないと思う。

#### **自治協委員**

何と言っているのかわからないのが正直な感想。私も幼稚園、小学校、中学校で総合学習の講師をやっており本業は農業である。

農業や生き物、植物などで学習の支援をしている。現状を見るとイベント的で断片的な総合学習になっているのが実感としてあり、先生もやりたくないというのが何となくわかる。やる方としては、子どもたちをどういう方向に導きたいのか、どんなプログラムがいいのかいっしょに考えていくべきだと思う。

庭で作物を育てるのはどこの園でもやっているが、収穫するだけとか、そのあと調理するとかいろいろな生き物がつながって生きているということを感じていないと思う。

#### **教育委員会事務局**

特にE S Dという枠組みではないが、E S Dにかかわる環境教育はかなり前から取り組んでいます。

幼稚園の具体例は今では紹介できませんが、たとえば秋葉区では、金津小学校4年生が総合学習の中で、森の会の方々とブナの木を植え、地域の環境を知ったうえで環境保全に取り組んでいます。また、小須戸小学校では、大豆で豆腐を作ったり、野菜を育てて収穫し、全校でカレーを作ったり、菜の花を育ててそこから菜種油をとったりしています。

それが全体の中でしっかり意味づけられているかと言われると、なかなかうまくいっていないのが現状です。外側に自然があつて、その中に社会があつて経済がある。それらを意識してE S Dを進めていこうとしています。今のところは大きな枠組みの自然の部分である環境学習を通じて進めています。

### 教育委員

私は福島潟で市民のグループ活動に参加していますが、総合学習ではゲストティーチャーとして環境教育に関わり、安心安全な食をテーマに子どもたちと連携した活動を続けています。

3月に子どもたちと交流会を開催し、その中で人を含めた生物多様性の大切さを再確認しました。福島潟のたくさんの生物、暮らしている地域、人も命をいただいて生きています。安心安全な食が大事で、この地域は農業をととても大事にしており、環境は人間への安全な食の提供にもつながることから、農業の方たちと連携して環境活動を進めています。

また、学校ビオトープを活用し、絶滅危惧種と外来の生き物の関係などを目の前の自然の中から五感を通し学んでいます。

その活動が充実するうえで一番ありがたいことは、学校が開かれていて、地域教育コーディネーターの方たちから学校でどんなことが必要かなどの情報をいただけることです。

皆さんが知りたいことは私も知りたいという思いで教育委員をやっています。テーマが具体的だともっと話がしやすいといった意見もたいへんありがたく、いろいろとお話を聞ければと思っています。

### 教育委員

ESDについては、新潟市の小・中学校ではスタートしたばかりです。

教育ミーティングで、ESDだけでなくいろいろな先進的な取組みを聞かせてもらうのは非常にありがたい。幼児の時代から環境に触れて五感で感じるのが大事だと今日改めて感じました。

教育委員会定例会に持ち帰り、これがすぐに幼児教育に反映されるかは別のレベルの話ですが、ぜひこのようないい話を全体に伝えたいと思います。

### 自治協委員

このESDというのはたいへんいいと思った。ぜひ取り組んでもらいたい。幼児から小学生までは結構やれるのではと感じた。

先日まで塾をやっていたが、中学生になると部活の時間が多くなり、週休2日制になったときは自分の自由な時間がとれるのではと思っていたが、土日は部活、試合などで時間がとられ忙しいので、それがどうなのかと思う。もう少し土日は総合学習的なもの、自然に触れられる機会をもてるようにできないものか。部活とのかかわりについて実態調査などを行うとかなり別の面も見えてくるのではないか。

### 教育委員

私の子どもも部活などで夏休みはほとんど毎日学校へ行っており、今の実態も感じています。行政の方で実態調査ができるかについて、現状の把

握は大事だと思しますので、参考とさせていただきます。

### 自治協委員

ESDは初めて聞いたが、ユネスコが言い出す前にすでに総合学習はあったと思う。ESDイコール総合学習と捉えるのはおかしいと思うが、ESDが環境に課題を見つけそれを入り口として捉えたらいいのではということなので、生物多様性とか環境保全の面で総合学習がESDと結び付けられていると感じている。

しかし、総合学習というのはビオトープや環境活動にかかわるものだけではないが、現状を見ると文化祭や作品展で一作品も仕上げられないほど時間数が足りなくなっている。

総合もESDといっしょに持続可能に発展させたいが、学校もキャパシティは限られている。ましてやこれから英語教育や道德の強化などにより、どんどん週の時間数が削られてくる。一番狙われているのは総合の時間である。総合学習の時間が削られている今の動きを教育委員はどう考えているのか。

### 教育委員

総合学習が狙われているのはわかりませんが、バランスというのは大事だと思えます。どうしても必要なものは残り、あとは選択によりバランスよく配置されるしかないと思っています。総合学習はESDだけではなく、いろいろなものに取り組むべき時間であると思えます。

私はPTA役員をしていますが、先生が総合学習でやりたいこと、また今年1年このクラスをどうもっていききたいのかななどを、先生とPTAとでしっかり話す中で目標をしっかりもち、その目標を達成するために必要な授業をいっしょに作り上げていこうと動き出しています。

今までのような前例的なものではなく、何のためにこの授業をやりましょうという形に変わってきています。学校の先生だけでなく親も一緒になって変えていくのは可能ではないかと思えます。

### 自治協委員

教育委員は一般市民であることがよくわかった。総合的な学習のねらいは、自分の生きざまを考えさせることである。農業体験をしたからといって、それは体験活動に過ぎない。米づくりをしたことで自分はどうかということ振り返ってこそ意味が出てくる。毎年同じことをやることに何が進歩になる。去年の米の出来を見て今年はどうするか考えて行うのが総合学習であり、それを先生はわかっているのか疑問である。

### 自治協委員

先ほどの部活の問題で一言だが、部活は強制的なものではない。結局は

保護者と学校と部活担当者の中で十分な話し合いが必要ではないのか。話せばわかるということだ。私も部活を担当した経験から子どもたちといろいろと話をした。部活をめぐる現実的な問題はいろいろとあるが、それは関係者で話し合いをしてもらえればよいと考えている。

### 自治協委員

ESDと言われても論点があきらかでないので意見のしようがない。

教育に携わった者として話をするが、教育といえば、学校教育と社会教育、生涯教育ということになるが、ここで出ているのが学校教育。

日本の教育環境というのは外国に比べて劣悪であると思う。子どもを地域で育てる環境が備わっているかどうか。学校は学校、家に帰った後の子どもらしい環境づくりがなされているか。置き去りにされてはいないか。子どもの居場所の整備なども大事になると思う。

不登校の子どもたちをどう扱うかも社会の地域づくりの中で考えていく必要があると思う。

### 自治協委員

学校で教育をするときは貧富に関係のない教育の基礎基本をしっかりとしてもらいたい。学校でしっかりやってもらえないから塾に行くようではだめである。

部活は時間をかけてやればよいというものではない。人、指導者、教員の問題と思うが、最近教員は非常に多忙であると聞く。不必要な会議がかなりあるといえる。校長のリーダーシップが非常に大事。校長が代わると学校も間違いなく変わる。要は人である。学校では学校の教育の基礎基本をしっかりと教えて、心と体の丈夫な子どもを育てるように。もちろん親も行政も社会も教育委員会も一体となつての取組みが大事だ。

### 教育委員

ご意見のように資質向上できるよう私も努力していきたいと思う。

### 教育委員

教育の専門家ではないが、昨年新潟市の学力でよい結果が出たが、その理由が先生方の学習指導について教育委員会のきめ細かな検証の仕組みがあったようで、またいい取組みをお互い吸収しあっているのが結果的に数字となり表れたのかと思う。

基礎基本はしっかり学校でというご発言もありましたが、きちんとやっていると感じています。これからも学校や教育について、皆さんが意見を言える機会を大事にしていきたいと思ひます。

### 自治協委員

基礎基本の受け止め方は人それぞれだと思うが、いろいろな勉強をしていく中で、算数や国語では計算ができる、しっかり読めるという応用問題のベースになることがもう少し徹底していれば、さらに次のレベルにつながっていきやすいのではないかと経験から言える。

### ② 秋葉区の子どもたちの健康について

#### 自治協委員

格差と貧困社会と言われて久しいが、最近さらに貧困社会が増大しており、特に近年では子どもの貧困問題が学校問題にも影響していると思う。健康と貧困は統計的に相関関係があると出ているが、特に子どもの貧困問題をどう捉え、是正を図っていくか伺いたい。

#### 教育委員会事務局

貧富に関係ない教育ということで学校の方でも意識をしてやっており、今年度からアフタースクール支援事業という、勉強したい子どものための放課後学習を始めました。基礎的なことを学びたい、発展的なことを学びたいという子どもの希望に応じて、まったく貧富に関係なく勉強ができるという環境づくりに努めています。始めたばかりの施策で、今後充実させていく予定です。

#### 自治協委員

健康と安全は提供されるわけではなく、自分で作り出す力を育てるもの。とかく今は健康な環境を大人が提供する、安全な環境を全部用意してくれるところがある。もっと環境の中で適応できる能力を養うことに主眼を置き、主体的に健康を作り出すことに力を入れてほしい。

あと一点。学力が上がっているという話があったが、今小学校1年生の時から宿題がたくさん出ると聞いている。遊ぶ時間が無くなって宿題ができなくて学校に行きたくないという子どもが実際にいる。それで学力を上げてどうするのかと思っている。子どもはせめて小学校4年生ぐらいまでは遊ぶべきだと思う。そんなことで日本がよくなるとは到底思えない。そんなことで学力を上げるよりも、子どもにもっと生きる力のベースとなる遊ぶ時間をとってあげるような施策をしてもらいたい。何のために学力を上げるのかしっかり考えたうえで教育についてもう一度考えてもらいたい。学力が上がってもこの町、この環境がなくなったら、住めなくなることをわかっていないと思う。

まず住める社会があり、経済があり、勉強がある。社会がなくなってしまうという気がしてならないので、まず住めるところを確保する。頭が良からうが悪からうが、それが一番と思う。

### **自治協委員**

放課後児童クラブは子どもに関係あるのになぜ教育委員会担当でないのか。そこまで縦割り行政にする必要はないのにとこのを踏まえての意見である。

児童センターを秋葉区にぜひ作ってほしい。北区には2ヶ所ある。8区の中で児童センターがないのは秋葉区だけである。図書コーナー、遊戯室などがあり、もちろん指導員がいて、子どもが休日でも雨の日でも安心して遊びに行かれる場所である。子育て中のお母さん方は困っている。わざわざ他の区の児童館まで行って遊ばせている状況にある。管轄ではないのではなく、ぜひ作る方向で教育委員会には取り組んでもらいたい。

### **教育委員**

前段の放課後児童クラブと放課後の学習支援について、別々になっていることに私も違和感を覚えています。

今年から新しい教育ビジョンがスタートしていますが、同じことを行っている中で協力していくべきだということはすでに意見として述べさせてもらっています。教育ビジョンにも反映されていますが、私も同じような意見をもっていますので、できるだけそうなるよう教育委員会定例会で話をしていきたいと思えます。

### **教育委員**

教育ビジョンの概要版にも出ていますが、学力というのは数字だけの話ではなく、いろいろな能力が学力であると思えます。基本施策の中の「確かな学力の向上」には「基礎基本を身につける教育の推進」、「社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進」などいろいろな項目があります。「読書活動の推進」や「新聞活用の充実」など学力はいろいろなものの中から身につくものであると思えます。数字を上げるだけが学力の向上ではないということをご理解いただきたい。

※続きは第2回区教育ミーティングへ引き継ぐ

**7 自治協議会会長挨拶**

**8 閉会**